

報道関係各位

2021年10月29日  
株式会社 LIXIL

## LIXIL 2022年3月期第2四半期決算（IFRS）

上期として過去最高の最終四半期利益を達成

- ロックダウンなどの要因により9月の生産・出荷の遅延あるも、欧米を中心とした旺盛な需要と日本の構造改革の進展を背景に増収増益
- 上期の事業利益率は5.4%、売上総利益率は前年同期比で2.1pt改善

株式会社 LIXIL（以下 LIXIL）は本日、2022年3月期第2四半期（上期）の決算を発表しました。

### LIXIL 社長 兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「2022年3月期第2四半期は、アジア太平洋地域でのロックダウンや部品の調達難、輸送コンテナ不足による海上輸送費の高騰及び生産と出荷の遅延など、厳しい事業環境に直面しましたが、自宅で過ごす時間をより快適にしたいという需要を的確に捉え、国内において従来から取り組んできた様々な体質改善施策が結果として表れてきたことで、上期としては過去最高となる最終四半期利益を達成することができました。国内では、リフォーム売上が順調に伸長し、生産性の向上を図ったことで、収益性の高い事業構造への転換を着実に進めています。海外では、グローバルな生産体制を生かして、各地域におけるブランド・ポートフォリオのギャップを埋めるとともに、日本で開発した先進技術を活かして、事業を拡大しています。このような取り組みを通じて、LIXILは、長期にわたって持続可能な成長の実現に向けて着実に前進しています。また、既存住宅の省エネ化を実現する高性能住宅工法や、より高い節水と省エネ性能を誇るシャワーヘッドなど、環境配慮型製品の拡充を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）の達成と環境負荷の低減に貢献してまいります。」

### ➤ 決算の概要（第2四半期累計）

#### 売上収益

2022年3月期上期（6か月累計）の連結売上収益は、前年同期比5%増の6,962億円となりました。国内事業の売上収益は、2021年3月期に行った事業売却の影響により、前年同期比2%減の4,833億円となりましたが、この影響を差し引くと、好調なリフォーム需要を背景に2%の増収となりました。国内におけるリフォーム向けの売上構成比は、前年同期比で3.7pt増加し、40%まで上昇しました。水まわり事業を手がけるLIXIL Water Technology (LWT)の日本事業では、9月にアジア太平洋地域のロックダウンの影響で衛生陶器の出荷が遅れが生じたものの、リフォームと中高級品価格帯商品の需要が堅調で、売上は前年同期比で5%増加し、事業利益率は3.3pt改善して7.4%となりました。また、衛生意識の高まりにより、タッチレス水栓やタッチレス水栓を標準搭載したキッチンや洗面化粧台の売上が好調でした。

一方、住宅建材事業を展開するLIXIL Housing Technology (LHT)の日本事業は、事業体質を強化する施策の進捗により前年の子会社の売却影響を除くと、売上は2%増加しました。事業利益率は1.8pt改善して、8%となりました。また、リフォーム商材の売上が好調で、TOSTEMブランドのドア「リシ

メント」の売上は前年同期比で 27%増、樹脂内窓「インプラス」は 31%増となりました。さらに、「スマート宅配ポスト」は前年同期比 57%の売上増となりました。

海外事業の売上収益は、前年同期比 25%増の 2,226 億円となりました。LWT の欧米地域が増収をけん引し、同地域では新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大前の水準を上回って売上が伸長しました。海外事業の事業利益率は 5.4pt 改善し、11.7%でした。LWT のアメリカ市場では、卸向けと小売りの販売が牽引して、全商品カテゴリーと全販売チャネルにおいて売上は大幅に伸長し、対前年比では 20%の売上増となりました。LWT の EMEA（欧州・中東・アフリカ）地域においても、全商品カテゴリーと全販売チャネルで好調に売上が推移し、前年同期比 29%の売上増となりました。LWT の中国では、小売販売チャネルと GROHE 商品の売上が堅調で、前年同期比 1%増と前年並みで推移しました。一方、LWT のアジア太平洋地域は COVID-19 の感染症拡大の影響により、一部地域で経済活動の制限による影響を受けましたが、地域全体としては回復を継続し、19%の増収となりました。

## 事業利益

上期の事業利益は、LWT の欧米市場の売上伸長と国内の構造改革の進展により、前年同期比で 219 億円増加し、373 億円でした。事業利益率は 3.0pt 増加して、5.4%に改善、売上総利益率は 2.1pt 改善して 35.1%に上昇しました。販管費率は 0.9pt 改善しました。

## 非継続事業を含む親会社の所有者に帰属する上期四半期利益

上期の最終四半期利益は、COVID-19 の感染拡大による経済活動の制限からの回復と構造改革の進展により、前年同期比 148 億円増の 257 億円となり、上期としては過去最高益となりました。

### ➤ 第 2 四半期 事業・ESG ハイライト

LIXIL は、経営の基本的方向性に沿って優先課題に注力し、より機動的で起業家精神にあふれた組織文化の構築と生産性を向上する改革を進めるとともに、ESG への取り組みを加速しています。こうした取り組みは、収益性と財務体質の改善や[ステークホルダーに対して生み出す価値](#)の向上につながっています。

#### • **リフォーム事業の進展を通じた日本事業の収益性改善**

LHT の日本事業は、家全体をまるごと断熱リフォームすることで、既存住宅を新築同等の省エネ住宅へ転換する高性能住宅工法「[まるごと断熱リフォーム](#)」の販売を 10 月から開始しました。既存住宅の構造部分など使える部分を活かし、性能の低い断熱材などを一新することで、リーズナブルに高性能化を実現します。現在の省エネ基準に満たない住宅は日本の家屋の 90%にのぼるため、既存住宅の高性能化を推進することで、脱炭素社会の実現に貢献します。一方、LWT の日本事業は、マンションリフォーム用システムバスルームの「[リノビオ V](#)」を刷新し、10 月から販売を開始しました。リノビオ V はリフォームのトレンドを取り入れ空間デザインを強化するとともに、シルクミストなど 3 つの吐水モードとともに、高い省エネと節水機能を兼ね備えた「[エコアクアシャワーSPA](#)」を初搭載しています。

- **気候変動の緩和と適応に向けた取り組み**

LIXIL では、2050 年までに [CO2 の排出量実質ゼロ](#)の達成を目指し、事業活動と製品やサービスを通じて気候変動の緩和と適応に取り組んでいます。この一環として、地球温暖化の緩和につながる断熱窓などの[エコ商品](#)をより広く普及させながら、子どもたちを室内熱中症から守ることを目的とした「[窓から ECO シェアプロジェクト](#)」を 2022 年 3 月まで北関東・関東・関西圏で実施しています。2019 年から開始したこのプロジェクトは、これまでに 468 世帯の家庭の 1 年間の CO2 排出量に相当する 1,943 トンの CO2 の削減に貢献しました。また、当社の IoT ホームリンク「[Life Assist2](#)」を活用して住宅内の熱中症対策と空気質管理の有効性を実証する[プロジェクト](#)を LIXIL 有明工場のある長洲町（熊本県）で開始しました。このプロジェクトは、国土交通省が公募する「令和 3 年度 サステナブル建築物等先導事業（次世代住宅型）」に[採択された](#)ものです。

- **デジタルトランスフォーメーションを加速**

LIXIL は既存事業の変革と新規事業の創出を推進し、生産性の向上を図るため、全地域でデジタル化を加速しています。今年 3 月にはデジタルコンテンツのプラットフォームである「[GROHE X](#)」を欧州で立ち上げ、8 月には Red Dot Award Brands & Communication Design 2021 をデジタルソリューション部門で受賞しました。「GROHE X」は、製品情報や製品の取り付け方などのコンテンツの提供に加え、オンライン上で GROHE ブランドの営業担当者と商談をしたり、特別イベントに参加することを可能にしています。「GROHE X」の開設以来の訪問者数は、約 222,000 人、日々の利用者数は 2,500 人に上ります。日本でも同様のビジネスパートナー向けのプラットフォームを来年度から展開し、将来はエンドユーザー向けにも対象を広げる予定です。また、社内においても、デジタルツールの活用を推進し、従業員がさらに活躍できる環境を整え、組織の変革を加速しています。日本では、デジタル情報の管理・活用を推進するため、デジタルコンテンツファクトリーを創設し、人材育成を進めるとともに、専門知識がなくてもアプリケーションが開発できるノーコード・ローコード開発を導入し、組織全体で技能水準の向上に取り組んでいます。

※新商品のリリース情報は[こちら](#)からご覧ください。

#### About LIXIL

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約 55,000 人の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社 LIXIL（証券コード: 5938）は、2021 年 3 月期に 1 兆 3,783 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL グローバルサイト：<https://www.lixil.com/jp/>

LIXIL Facebook（グローバル向け）：<https://ja-jp.facebook.com/lixilglobal/>

LIXIL Facebook（日本国内向け）：<https://www.facebook.com/lixilcorporation>